

2016年度 第3四半期 決算説明会

富士フイルムホールディングス株式会社

2017年1月31日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

<投資家・アナリスト向け>

本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

富士フイルムホールディングス株式会社 2016年度第3四半期決算について、
ご説明させていただきます。

2016年度第3四半期 業績（2016年4月～12月）

(単位：億円)

	2015年度 9ヶ月累計	2016年度 9ヶ月累計	対前年度	為替影響	為替影響除く
売上高	18,415 100.0%	17,029 100.0%	-1,386 -7.5%	-1,400	14 +0.1%
営業利益	1,339 7.3%	1,141 6.7%	-198 -14.8%	-307	109 +8.2%
税金等調整前 四半期純利益	1,417 7.7%	1,262 7.4%	-155 -11.0%	-255	100 +7.0%
当社株主帰属 四半期純利益	844 4.6%	769 4.5%	-75 -8.8%	-177	102 +12.1%
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	179.54円	172.51円	-7.03円		
為替：米ドル ：ユーロ	122円 134円	107円 118円	15円高 16円高	<その他増減要因（対前年度）> 営業利益 原材料：+69億円	

2016年度第3四半期は、

為替の円高による1,400億円のマイナス影響などにより、売上は前年比7.5%減の1兆7,029億円となりましたが、為替影響を除いたオペレーションベースでは、前年並みを確保しました。

為替影響を強く受ける状況下でも、電子材料事業や電子映像事業などが売上を伸ばしました。

営業利益については、

為替の円高による307億円のマイナス影響などにより、前年比14.8%減の1,141億円となりましたが、オペレーションベースでは、前年比8.2%の増益となりました。

また、営業外収益及び費用で、為替差益に加え、投資有価証券売却益を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は前年比11.0%減の1,262億円、為替影響を除くと前年比7.0%の増益となりました。

当社株主帰属四半期純利益は前年比8.8%減の769億円、為替影響を除くと前年比12.1%の増益となりました。

昨年12月15日の取締役会において、総合試薬メーカーの和光純薬工業株式会社の普通株式を公開買い付けにより取得することを決定しました。今後、和光純薬とのシナジー創出により、既存ビジネスの最大化、競争力の高い新規製品の開発・提供などを通じて、ヘルスケア、高機能材料のさらなる事業成長を図っていきます。

2016年度第3四半期（9ヶ月累計）決算 概要						FUJIFILM	
セグメント別：連結売上高／営業利益							
（単位：億円）							
売上高	9ヶ月		対前年度		為替影響	為替影響除く	
	2015年度	2016年度					
イメージング	2,725	2,564	-161	(-5.9%)	-310	149	(+5.5%)
インフォメーション	7,005	6,567	-438	(-6.3%)	-580	142	(+2.0%)
ドキュメント	8,685	7,898	-787	(-9.0%)	-510	-277	(-3.2%)
合計	18,415	17,029	-1,386	(-7.5%)	-1,400	14	(+0.1%)
*セグメント間取引消去後							
（単位：億円）							
営業利益	9ヶ月		対前年度		為替影響	為替影響除く	
	2015年度	2016年度					
イメージング	265	281	16	(+5.9%)	-90	106	(+40.0%)
インフォメーション	617	568	-49	(-8.0%)	-150	101	(+16.3%)
ドキュメント	679	518	-161	(-23.7%)	-67	-94	(-13.8%)
全社/連結調整	-222	-226	-4		0	-4	
合計	1,339	1,141	-198	(-14.8%)	-307	109	(+8.2%)

続いて、セグメント別の状況についてご説明します。

イメージング ソリューション部門の売上高は、

前年比5.9%減の2,564億円、為替影響を除くと前年比5.5%の増収となりました。

営業利益は、前年比5.9%増の281億円、為替影響を除くと前年比40.0%の大幅増益となりました。

インフォメーション ソリューション部門の売上高は、

前年比6.3%減の6,567億円、為替影響を除くと前年比2.0%の増収となりました。

営業利益は、前年比8.0%減の568億円、為替影響を除くと前年比16.3%の大幅増益となりました。

ドキュメント ソリューション部門の売上高は、

前年比9.0%減の7,898億円、為替影響を除くと前年比3.2%の減収となりました。

営業利益は前年比23.7%減の518億円、為替影響を除くと前年比13.8%の減益となりました。

セグメント別 概況

■ イメージング ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
2,564	-161 (-5.9%)	281	16 (+5.9%)

(単位：億円)

- ・ フォトイメージングでは、為替の影響などにより売上は減少したが、インスタントカメラ“チェキ”、チェキフィルムなどのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移。フォトブックなどの付加価値プリントビジネスも拡大。
- ・ 電子映像では、フラッグシップモデル「FUJIFILM X-Pro2」、「FUJIFILM X-T2」および交換レンズの販売が伸長し、売上が増加。
- ・ 光学デバイスでは、スマートフォン用カメラモジュールの販売縮小などにより売上が減少。

為替の円高によるマイナス影響などにより減収となったものの
収益性の改善により増益
オペレーションベースでは増収、大幅増益

まずイメージング ソリューション部門についてご説明します。

フォトイメージングでは、為替の影響などにより売上は減少しましたが、インスタントカメラ“チェキ”、チェキフィルムなどのインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移しました。また、フォトブックなどの付加価値プリントビジネスも拡大しました。

電子映像では、フラッグシップモデル「FUJIFILM X-Pro2」や「FUJIFILM X-T2」および交換レンズの販売が伸長したことにより、売上が増加しました。

光学デバイスでは、スマートフォン用カメラモジュールの販売縮小などにより売上が減少しました。他社に先駆けて発売した4Kカメラ対応の放送用ズームレンズが画質面で高い評価を受けており、ワールドワイドのシェア拡大を図ります。

イメージング ソリューション部門は、為替の円高によるマイナス影響などにより減収となったものの、各事業の収益性の改善により増益となりました。また、オペレーションベースでは増収、大幅増益となりました。

セグメント別 概況

■インフォメーション ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
6,567	-438 (-6.3%)	568	-49 (-8.0%)

(単位：億円)

- ・ メディカルシステムでは、為替の影響などにより売上は減少したが、成長分野である体外診断(IVD)システムの販売が好調に推移。医薬品は低分子医薬品において後発医薬品の影響を受けたことなどにより売上は減少したが、バイオ医薬品開発製造受託が堅調に推移。再生医療は事業拡大に向けた活動を推進。
- ・ フラットパネルディスプレイ材料は、「WVフィルム」やVA用フィルムなどの販売が好調に推移し売上が増加。
- ・ 産業機材では為替の影響などにより売上は減少したものの、「エクスクリア」の販売が好調に推移。電子材料はフォトレジストなどの先端製品の販売が好調に推移し、売上が増加。
- ・ 記録メディアは、オンリーワン技術を使用したデータストレージ用磁気テープの販売が堅調に推移し、売上が増加。
- ・ グラフィックシステムでは、為替の影響などにより売上は減少したがデジタル印刷機器や産業用インクジェットヘッドなどの販売が伸長。1月にインクジェット事業部を新設。

為替の円高によるマイナス影響などにより減収減益
オペレーションベースでは増収増益

5

続いてインフォメーション ソリューション部門です。

ヘルスケアのうち、メディカルシステムでは、為替の影響などにより売上は減少しましたが、成長分野である体外診断(IVD)システムの販売が好調に推移しました。

医薬品は、低分子医薬品において後発医薬品の影響を受けたことなどにより、売上は減少したものの、バイオ医薬品開発製造受託が堅調に推移しました。また、研究開発においては、新規フルオロケトライド系抗菌薬「T-4288」の日本における臨床第Ⅲ相試験を開始するなど、パイプラインの開発を着実に推進しています。

再生医療では、CDI社がiPS細胞の実用化に非常に重要な製造法特許を、米国やオーストラリアに続き、日本でも取得するなど、事業拡大に向けた活動を推進しています。

ライフサイエンスでは、高機能化粧水「アスタリフト モイストローション」などの販売が好調に推移し、売上が増加しました。

フラットパネルディスプレイ材料は、「WVフィルム」やVA用フィルムの販売が好調に推移し売上が増加しました。

産業機材では、為替の影響などにより売上は減少したものの、「エクスクリア」の販売が好調に推移しました。

電子材料では、半導体の微細化が進み半導体材料に求められる品質が高まる中、当社のフォトレジストなどの先端製品の販売が大手顧客を中心に伸長し、売上が増加しました。

記録メディアは、「BaFe（バリウムフェライト）磁性体」などのオンリーワン技術を使用したデータストレージ用磁気テープの販売が堅調に推移し、売上が増加しました。

グラフィックシステムでは、為替の影響などにより売上は減少しましたが、デジタル印刷機器や産業用インクジェットヘッドなどの販売が伸長しました。また、1月にインクジェット事業部を新設し、商業印刷に加えて、産業用途や3Dプリンティングなどの成長分野でビジネスを創出し、売上拡大を目指します。

インフォメーション ソリューション部門は、為替の円高によるマイナス影響などにより、減収減益となりましたが、フラットパネルディスプレイ材料や電子材料などで売上を伸ばし、オペレーションベースでは増収増益となりました。

セグメント別 概況

■ ドキュメント ソリューション

売上高	対前年度	営業利益	前年比
7,898	-787 (-9.0%)	518	-161 (-23.7%)

(単位：億円)

- ・ オフィスプロダクトの販売台数は前年並み。アジア・オセアニア地域、特に中国でのモノクロ機の販売台数が増加。
- ・ オフィスプリンターは、欧米向け輸出を中心に販売台数が減少したが、アジア・オセアニア地域ではモノクロ機が好調に推移。
- ・ プロダクションサービスの販売台数は減少したが、国内の販売台数は増加。
- ・ グローバルサービスは、国内およびアジア・オセアニア地域ともに、マネージド・プリント・サービスが堅調に推移。

アジアローカル通貨安によるマイナス影響や
欧米向け輸出の減少などにより減収減益

6

ドキュメント ソリューション部門については、

欧米向け輸出の売上がオフィスプリンター事業を中心に減少したことに加え、為替の円高によるマイナス影響などにより、減収となりました。

オフィスプロダクトは、全体での販売台数は前年並みとなりました。

国内では、販売台数が減少、アジア・オセアニア地域においては、販売台数が増加しました。特に中国では、モノクロ機の販売が好調に推移しました。

オフィスプリンターは、国内や欧米向け輸出で販売台数が減少し、全体で販売台数が減少しましたが、アジア・オセアニア地域ではモノクロ機の販売が好調に推移しました。

プロダクションサービスの販売台数は減少しましたが、国内の販売台数は増加しました。

グローバルサービスは、国内およびアジア・オセアニア地域ともにマネージド・プリント・サービスが堅調に推移しました。

営業利益は、アジアローカル通貨安の影響と欧米向け輸出の減少などにより、減益となりました。

引き続き、グローバルサービス等の成長領域の拡大や、アジア・オセアニア地域でのさらなる拡販を進めるとともに、経費削減及び原価改善施策の追加・加速等で収益性を高めていきます。

連結貸借対照表

					(単位：億円)				
	14年度末	15年度末	16年 12月末	対15年度末		14年度末	15年度末	16年 12月末	対15年度末
現金 及び現金同等物	7,269	6,009	6,437	428	長短社債 及び借入金	3,497	3,657	3,680	23
受取債権	6,810	6,639	6,206	-433	支払債務	2,690	2,593	2,429	-164
棚卸資産	3,725	3,529	3,720	191	その他流動 固定負債	4,705	4,548	4,230	-318
その他流動資産	1,628	1,716	1,392	-324	負債計	10,892	10,798	10,339	-459
流動資産計	19,432	17,893	17,755	-138	株主資本計	22,327	20,545	20,667	122
有形固定資産	5,274	5,341	5,257	-84	非支配持分	2,347	2,294	2,326	32
営業権	5,050	5,069	5,050	-19	純資産計	24,674	22,839	22,993	154
投資有価証券 その他資産	5,810	5,334	5,270	-64	負債・純資産 合計	35,566	33,637	33,332	-305
固定資産計	16,134	15,744	15,577	-167	(単位：円)				
資産合計	35,566	33,637	33,332	-305	期末日 為替レート	14年度末	15年度末	16年 12月末	対15年度末
					米ドル	120	113	116	3円安
					ユーロ	130	128	123	5円高

次に、バランスシートについてご説明します。

2016年12月末時点の資産合計は、

受取債権の減少などにより、2016年3月末時点と比べ、305億円減の3兆3,332億円となりました。

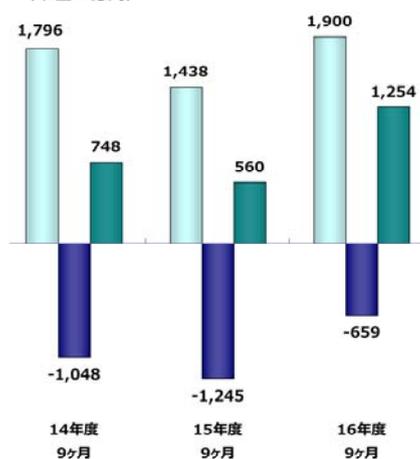
負債は459億円減の1兆339億円、株主資本は122億円増の2兆667億円となりました。2016年11月に、500億円の自社株買いを完了しております。

流動比率は、20.6ポイント減の273.1%、負債比率は2.6ポイント減の50.0%、株主資本比率は0.9ポイント増の62.0%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー（事業買収除く）

(単位：億円)



(単位：億円)

	14年度 9ヶ月	15年度 9ヶ月	16年度 9ヶ月
四半期純利益	1,071	977	872
減価償却費	907	880	864
受取債権の増(-)減(+)	252	280	428
棚卸資産の増(-)減(+)	-156	-270	-185
営業債務の増(+)-減(-)	-228	-24	-113
その他	-50	-405	34
営業活動によるC F	1,796	1,438	1,900
設備投資	-437	-462	-555
ソフトウェアの購入	-174	-177	-154
有価証券・投資有価証券等の 売却・購入	-193	99	272
事業買収	0	-367	-13
その他	-244	-338	-209
投資活動によるC F	-1,048	-1,245	-659
フリー・キャッシュ・フロー	748	193	1,241
事業買収除くフリー・キャッシュ・フロー	748	560	1,254

続いて、キャッシュ・フローについてご説明します。

営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,900億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資などにより、659億円の支出となりました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは1,241億円の収入となりました。

以上で、2016年度第3四半期決算の説明とさせていただきます。

2016年度 連結業績予想 (2017年1月31日時点)

(単位：億円)

	2015年度	2016年度	対前年度
売上高	24,916 100.0%	24,000 100.0%	-916 -3.7%
営業利益	1,912 7.7%	1,920 8.0%	8 +0.4%
税金等調整前 当期純利益	1,945 7.8%	1,920 8.0%	-25 -1.3%
当社株主帰属 当期純利益	1,233 4.9%	1,120 4.7%	-113 -9.2%
1株当たり 当社株主帰属 当期純利益	264.87円	252.51円	-12.36円
ROE	5.8%	6%程度	—
為替 : 米ドル	120円	106円	14円高
: ユーロ	133円	117円	16円高
銀価格 (/kg)	60,000円	60,000円	—

* 2016年度 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円、ユーロ：8億円

* 第4四半期の為替レートは 米ドル：105円、ユーロ：115円を想定しております

9

続きまして、2016年度通期の連結業績予想についてご説明いたします。

前回の連結業績予想より変更しておりません。

通期業績予想達成に向け、第3四半期は全社トータルでは計画通り進捗しており、引き続き成長戦略を推進していきます。

以上、2016年度第3四半期決算及び通期業績予想についてご説明いたしました。

ご静聴頂き、ありがとうございました。

FUJIFILM

Value from Innovation

富士フィルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拓けるチカラになるために。

富士フィルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>

2016年度第3四半期 決算説明会

参考資料

3Q/9ヶ月 業績

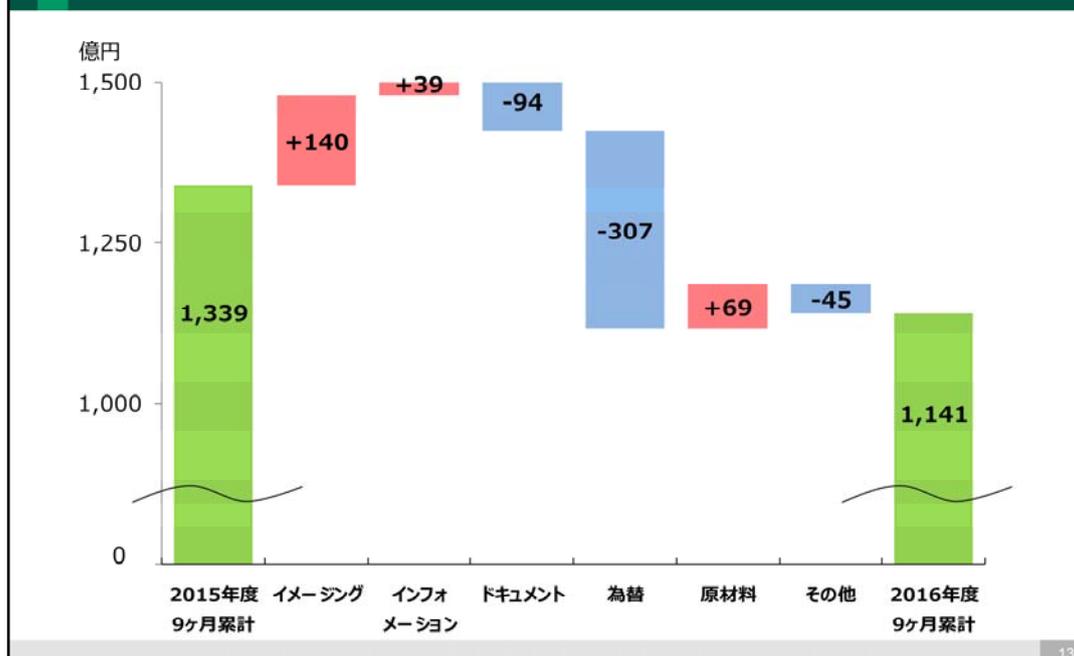
(単位：億円)

	2015年度3Q	2016年度3Q	対前年度	2015年度 9ヶ月累計	2016年度 9ヶ月累計	対前年度
売上高	6,154 100.0%	5,820 100.0%	-334 -5.4%	18,415 100.0%	17,029 100.0%	-1,386 -7.5%
営業利益	532 8.7%	506 8.7%	-26 -4.8%	1,339 7.3%	1,141 6.7%	-198 -14.8%
税金等調整前 四半期純利益	571 9.3%	656 11.3%	85 +14.7%	1,417 7.7%	1,262 7.4%	-155 -11.0%
当社株主帰属 四半期純利益	374 6.1%	434 7.5%	60 +15.9%	844 4.6%	769 4.5%	-75 -8.8%
為替 : 米ドル	122円	110円	12円高	122円	107円	15円高
: ユーロ	133円	118円	15円高	134円	118円	16円高

* 営業利益 増減要因 (9か月累計 対前年度) 為替 : -307億円、原材料 : +69億円

<当スライドは配付資料です>

営業利益増減分析（9ヶ月累計）



<当スライドは配付資料です>

3Q/9ヶ月 業績

(単位：億円)

売上高	3Q			9ヶ月		
	2015年度	2016年度	対前年度	2015年度	2016年度	対前年度
イメージング	994	1,032	38 (+3.7%)	2,725	2,564	-161 (-5.9%)
インフォメーション	2,401	2,251	-150 (-6.3%)	7,005	6,567	-438 (-6.3%)
ドキュメント	2,759	2,537	-222 (-8.0%)	8,685	7,898	-787 (-9.0%)
合計	6,154	5,820	-334 (-5.4%)	18,415	17,029	-1,386 (-7.5%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q			9ヶ月		
	2015年度	2016年度	対前年度	2015年度	2016年度	対前年度
イメージング	141 [14.1%]	192 [18.5%]	51 (+36.2%)	265 [9.6%]	281 [10.9%]	16 (+5.9%)
インフォメーション	269 [11.2%]	241 [10.7%]	-28 (-10.6%)	617 [8.8%]	568 [8.6%]	-49 (-8.0%)
ドキュメント	196 [7.0%]	149 [5.8%]	-47 (-23.8%)	679 [7.8%]	518 [6.5%]	-161 (-23.7%)
全社/連結調整	-74	-76	-2	-222	-226	-4
合計	532 [8.7%]	506 [8.7%]	-26 (-4.8%)	1,339 [7.3%]	1,141 [6.7%]	-198 (-14.8%)

14

<当スライドは配付資料です>

3Q（3ヶ月）セグメント別 ハイライト

■ イメージング ソリューション

- フォトイメージングは、インスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移し、売上は増加。
- 電子映像は、9月に発売した「FUJIFILM X-T2」などのフラッグシップモデル及び交換レンズの販売が増加。

■ インフォメーション ソリューション

- メディカルシステムでは、為替の影響などにより売上は減少したが、成長分野であるIVD（体外診断）システムの販売は好調に推移。
医薬品は、低分子医薬品において後発医薬品の影響を受けたことなどにより売上が減少。
- フラットパネルディスプレイ材料は、「WVフィルム」やVA用フィルムの販売が増加。
- 産業機材は、為替の影響により売上は減少したが「エクスクリア」の販売は伸長。電子材料はフォトレジストの先端製品などの販売が好調に推移。

■ ドキュメント ソリューション

- アジアローカル通貨安によるマイナス影響などにより売上が減少。
- オフィスプロダクトにおいて、各種クラウドサービスと連携するA3フルカラー複合機「ApeosPort-VI C/DocuCentre-VI C」シリーズを12月より日本、アジア・オセアニア地域で順次発売。

<当スライドは配付資料です>

3Q/9ヶ月 業績

■ イメージング ソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q				9ヶ月			
	2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く	2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く
フォトイメージング	750	762	12 (+1.5%)	90 (+11.8%)	1,951	1,818	-133 (-6.8%)	86 (+4.4%)
電子映像	153	177	24 (+15.3%)	41 (+26.6%)	478	487	9 (+1.9%)	71 (+14.9%)
光学デバイス	91	93	2 (+2.5%)	11 (+12.3%)	296	259	-37 (-12.5%)	-8 (-2.8%)
光学・電子映像	244	270	26 (+10.6%)	52 (+21.3%)	774	746	-28 (-3.6%)	63 (+8.2%)
合計	994	1,032	38 (+3.7%)	142 (+14.2%)	2,725	2,564	-161 (-5.9%)	149 (+5.5%)

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q				9ヶ月			
	2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く	2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く
イメージング	141 [14.1%]	192 [18.5%]	51 (+36.2%)	79 (+56.1%)	265 [9.6%]	281 [10.9%]	16 (+5.9%)	106 (+40.0%)

16

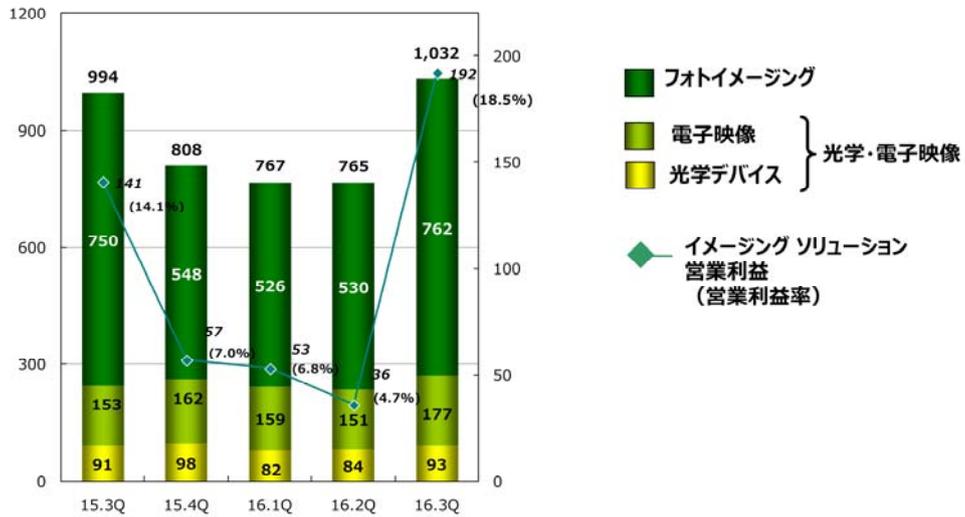
<当スライドは配付資料です>

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ イメージング ソリューション (単位: 億円)

売上高

営業利益



17

<当スライドは配付資料です>

3Q/9ヶ月 業績

■ インフォメーション ソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q					9ヶ月				
	2015年度	2016年度	対前年度	対前年度		2015年度	2016年度	対前年度	対前年度	
				為替影響除く	為替影響除く				為替影響除く	為替影響除く
ヘルスケア	1,033	948	-85 (-8.3%)	-20 (-1.9%)		2,953	2,749	-204 (-6.9%)	29 (+1.0%)	
フラットパネル ディスプレイ材料	258	273	15 (+5.5%)	15 (+5.5%)		714	758	44 (+6.0%)	44 (+6.0%)	
産業機械/電子材料	271	289	18 (+6.7%)	46 (+16.9%)		793	806	13 (+1.7%)	107 (+13.6%)	
高性能材料	529	562	33 (+6.1%)	61 (+11.3%)		1,507	1,564	57 (+3.7%)	151 (+10.0%)	
記録メディア	122	128	6 (+5.3%)	20 (+16.2%)		340	345	5 (+1.4%)	51 (+14.8%)	
グラフィックシステム	699	610	-89 (-12.7%)	-35 (-4.9%)		2,154	1,882	-272 (-12.6%)	-65 (-3.0%)	
その他	18	3	-15 (-81.5%)	-15		51	27	-24 (-47.5%)	-24	
合計	2,401	2,251	-150 (-6.3%)	11 (+0.4%)		7,005	6,567	-438 (-6.3%)	142 (+2.0%)	

*セグメント間取引消去後

(単位：億円)

営業利益 [営業利益率]	3Q					9ヶ月				
	2015年度	2016年度	対前年度	対前年度		2015年度	2016年度	対前年度	対前年度	
				為替影響除く	為替影響除く				為替影響除く	為替影響除く
インフォメーション	269 [11.2%]	241 [10.7%]	-28 (-10.6%)	15 (+5.5%)		617 [8.8%]	568 [8.6%]	-49 (-8.0%)	101 (+16.3%)	

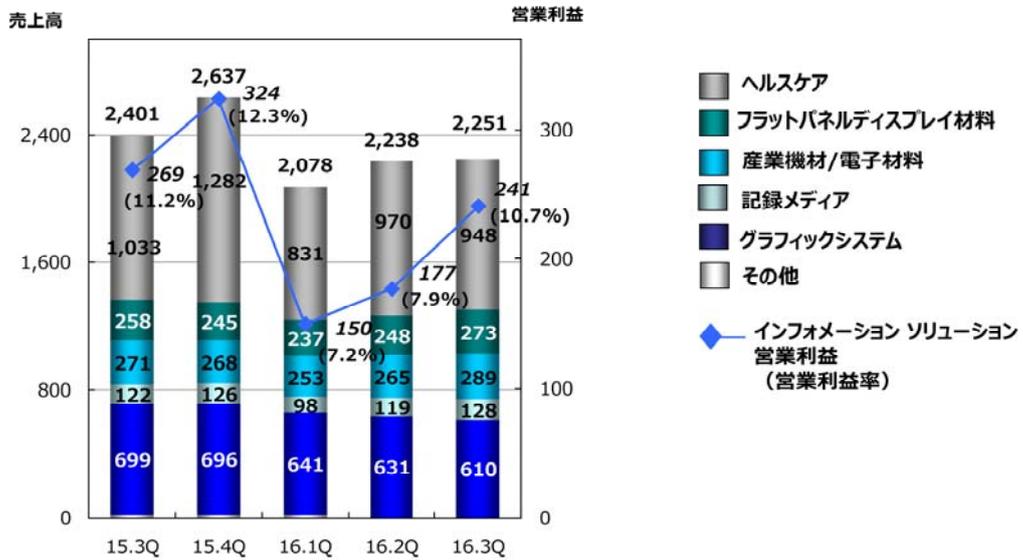
18

<当スライドは配付資料です>

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ インフォメーション ソリューション

(単位：億円)



<当スライドは配付資料です>

3Q/9ヶ月 業績

■ ドキュメント ソリューション

(単位：億円)

売上高	3Q					9ヶ月				
	2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く		2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く	
オフィスプロダクト	1,216	1,135	-81 (-6.6%)	-30 (-2.4%)		3,782	3,512	-270 (-7.1%)	-70 (-1.8%)	
オフィスプリンター	424	393	-31 (-7.4%)	7 (+1.7%)		1,425	1,203	-222 (-15.6%)	-117 (-8.2%)	
プロダクションサービス	368	323	-45 (-12.2%)	-21 (-5.6%)		1,173	1,016	-157 (-13.3%)	-82 (-6.9%)	
グローバルサービス	466	433	-33 (-7.2%)	-12 (-2.7%)		1,410	1,360	-50 (-3.5%)	30 (+2.1%)	
その他	285	253	-32 (-11.1%)	-20		895	807	-88 (-9.8%)	-38	
合計	2,759	2,537	-222 (-8.0%)	-76 (-2.7%)		8,685	7,898	-787 (-9.0%)	-277 (-3.2%)	

**セグメント間取引消去後

(単位：億円)

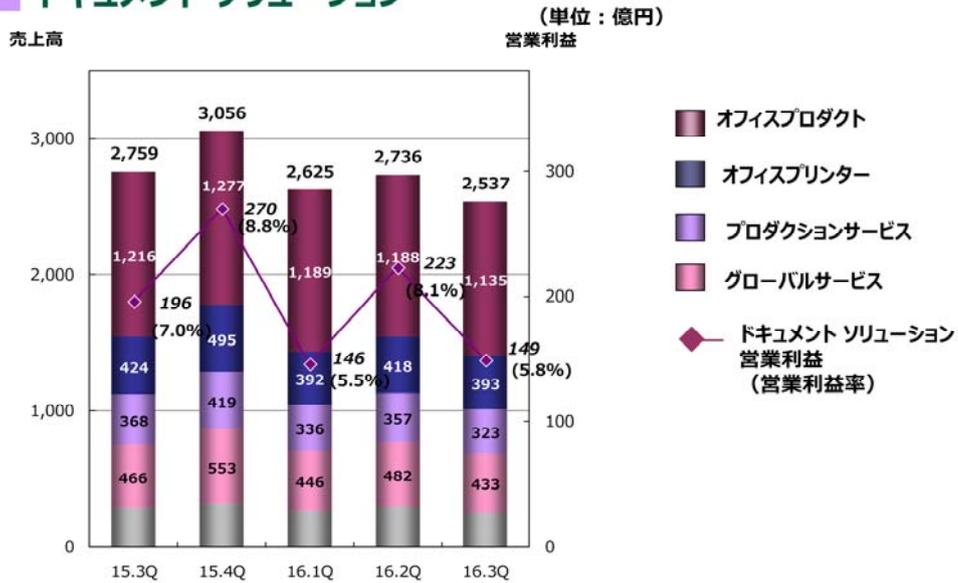
営業利益 [営業利益率]	3Q					9ヶ月				
	2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く		2015年度	2016年度	対前年度	為替影響除く	
ドキュメント	196 [7.0%]	149 [5.8%]	-47 (-23.8%)	-44 (-22.2%)		679 [7.8%]	518 [6.5%]	-161 (-23.7%)	-94 (-13.8%)	

20

<当スライドは配付資料です>

セグメント別 四半期 売上高・営業利益 推移

■ ドキュメントソリューション



<当スライドは配付資料です>

国内・海外別連結売上高

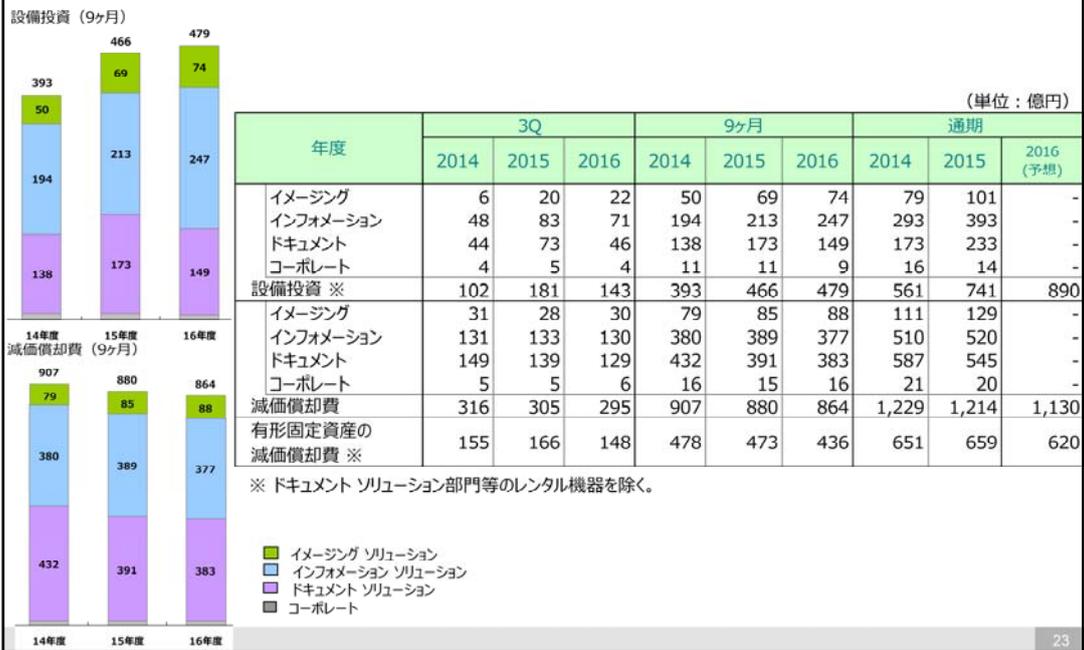
(単位：億円)

	2015年度 9ヶ月		2016年度 9ヶ月		対前年度	
	構成比(%)		構成比(%)			
日本	39.2%	7,216	41.4%	7,055	-161	(-2.2%)
米州	20.7%	3,810	19.7%	3,349	-461	(-12.1%)
欧州	11.6%	2,139	11.7%	1,993	-146	(-6.8%)
内、中国	11.5%	2,109	11.8%	2,006	-103	(-4.9%)
アジア他	28.5%	5,250	27.2%	4,632	-618	(-11.8%)
海外	60.8%	11,199	58.6%	9,974	-1,225	(-10.9%)
合計	100.0%	18,415	100.0%	17,029	-1,386	(-7.5%)

22

<当スライドは配付資料です>

設備投資、減価償却費



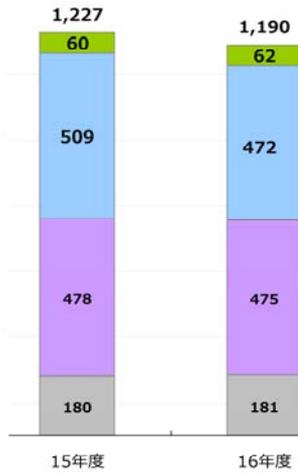
<当スライドは配付資料です>

研究開発費、販売費及び一般管理費

- イメージング ソリューション
- インフォメーション ソリューション
- ドキュメント ソリューション
- コーポレート

研究開発費（9ヶ月）

（単位：億円）



年度	3Q		9ヶ月		通期	
	2015	2016	2015	2016	2015	2016 (予想)
イメージング	21	19	60	62	80	-
インフォメーション	161	152	509	472	673	-
ドキュメント	156	149	478	475	632	-
コーポレート	60	60	180	181	245	-
研究開発費	398	380	1,227	1,190	1,630	1,600
<売上高比>	6.5%	6.5%	6.7%	7.0%	6.5%	6.7%
販売費及び一般管理費	1,562	1,464	4,732	4,467	6,224	-
<売上高比>	25.3%	25.2%	25.6%	26.2%	25.0%	-

<当スライドは配付資料です>

為替、原材料価格、人員

為替

(単位：円)

	2015年度						2016年度				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
米ドル	121	122	122	122	115	120	108	102	110	107	106
ユーロ	134	136	133	134	128	133	122	114	118	118	117

原材料価格 (平均)

(単位：千円/kg)

	2015年度						2016年度				
	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	9ヶ月	通期(予想)
銀	64	60	58	61	54	60	57	63	59	59	60

人員

(単位：人)

	2015.12末	2016.3末	2016.6末	2016.9末	2016.12末
連結	77,928	78,150	78,882	78,976	78,665

<当スライドは配付資料です>

2016年度 セグメント別業績予想 (2017年1月31日時点)

(単位：億円)

売上高	2015年度	2016年度	対前年度
イメージング	3,533	3,400	-133
インフォメーション	9,642	9,400	-242
ドキュメント	11,741	11,200	-541
合計	24,916	24,000	-916

*セグメント間取引消去後

営業利益	2015年度	2016年度	対前年度
イメージング	322	340	18
インフォメーション	941	970	29
ドキュメント	949	910	-39
全社/連結調整	-300	-300	0
合計	1,912	1,920	8

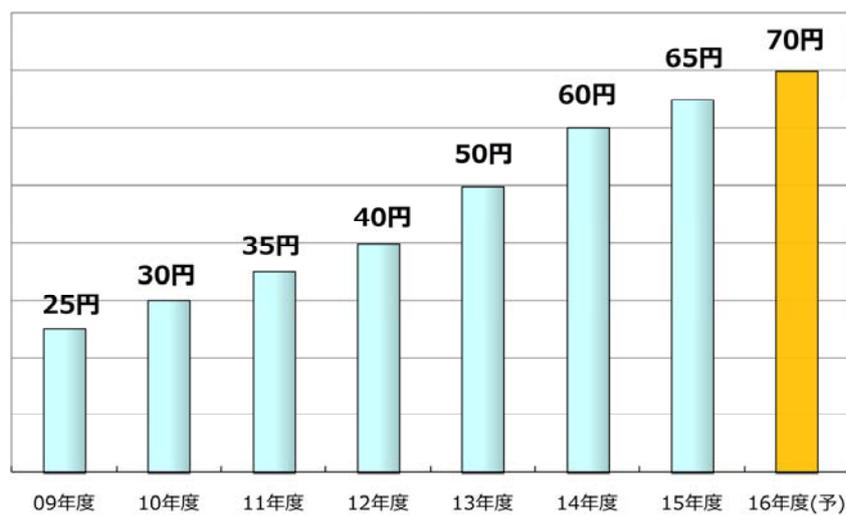
26

<当スライドは配付資料です>

株主還元

■ 配当金

2016年度の配当金は、7期連続増配となる対前年5円増配の70円/株を予定



27

<当スライドは配付資料です>

パイプライン

開発番号	薬効・適応症	剤形	地域	開発段階	備考
T-705	抗インフルエンザウイルス薬	経口	日本	承認済み	2014年3月承認（アビガン錠 [®] ）
			米国	Ph III実施中	国防省の助成金により臨床試験実施中
T-3811	キノロン系合成抗菌薬	経口	中国	承認申請中	国内はジェニナック錠として上市済み
T-2307	抗真菌薬	注射	米国	Ph I 終了	
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療薬	経口	米国	Ph II 実施中	Alzheimer's Disease Cooperative Study(ADCS)と臨床試験実施中
			日本	Ph II 実施中	京都大学iPS細胞研究所との共同研究によりバイオマーカーの探索・特定を目指す
T-4288	新規フルオロクワイド系抗菌薬	経口	日本	Ph III実施中	
ITK-1	去勢抵抗性前立腺がん治療薬 <small>バイオ</small>	注射	日本	Ph III実施中	
FF-10501	再発・難治性骨髄異形成症候群治療薬	経口	日本	Ph I 終了	
			米国	Ph II 準備中	MDアンダーソンがんセンター（米国）と臨床開発推進中
FF-10502	進行・再発膵がん/卵巣がん治療薬	注射	米国	Ph I 実施中	MDアンダーソンがんセンター（米国）と臨床開発推進中
			欧/日	Ph I 準備中	
FF-21101	進行・再発非小細胞肺がん/膵がん治療薬 (Armed抗体) <small>バイオ</small>	注射	米国	Ph I 実施中	MDアンダーソンがんセンター（米国）と臨床開発推進中
			欧/日	Ph I 準備中	
F-1311	前立腺がん診断薬（放射性医薬品）		日本	Ph II 実施中	
FF-10101	再発・難治性急性骨髄性白血病治療薬	経口	米国	Ph I 準備中	
FF-10102	自己免疫疾患治療薬	経口	米/欧/日	非臨床試験実施中	

※持分法適用会社の協和キリン富士フィルムバイオロジクス（FKB）のFKB327（アタリムマブバイオシミラー）は、米国、欧州、その他でPh III実施中。FKBとアストラゼネカ社のJ VのFKB238（ヘバシマブバイオシミラー）は、米国、欧州、その他でPh III開始。

28

<当スライドは配付資料です>

参考情報

富士フィルムホールディングス 株主・投資家情報

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html>

富士フィルムホールディングス アニュアルレポート2016

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/annual_reports/2016/index.html

IRイベント資料

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/ir_events/business_presentations/index.html

・事業説明会資料

- 2016年 3月 R&D説明会
- 2016年 5月 ドキュメント事業説明会
- 2016年 12月 医薬品・再生医療事業説明会

富士フィルムってどんな会社？

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/individual_guidance/index.html

29

<当スライドは配付資料です>